

新年のごあいさつ

登別市長

うえ の あきら
上 野 晃



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、地域福祉やコミュニティ活動、防災、まちづくりなどさまざまな分野で住民自治活動が活発に展開された年でありました。

登別市市民自治推進委員会の皆さまには、部会などの活動を通して市民主導による本格的なまちづくり論議を進めていただいております。また、登別市の特性である大雨災害を想定した実働防災訓練には多数の市民の自主的な参加をいただきました。春・秋のクリーン作戦では、地域の皆さま総出で環境の美化に取り組んでいただくとともに、地域の公園・広場・道など皆さまの連携による美化が進められました。

さらに、子どもたちの安全を確保するため、町内会や老人クラブなどの皆さまが、児童・生徒の登下校を見守る活動を地道に進められております。

このように皆さまがそれぞれの立場で協働のまちづくりに努められていることに心より感謝を申し上げますとともに、登別市連合町内会がその活発な活動を認められ、総務大臣表彰を受けたことは当然のこととお喜び申し上げます。

さて、本年は、登別温泉が開湯150周年を迎え、また北海道洞爺湖サミットが開催される年でもあります。本市としては、これらを絶好の機会と捉え、関係団体の皆さまと強く連携して国内・外に観光都市登別をアピールしたいと考えております。

また、サミットの主要テーマの一つである『環境』を今一度思い起こし、地球温暖化の防止や環境保全についてわたしたちにできることは何か自らに問いかけ、小さなことでも一つ一つ実践する年にしたいと考えております。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本市の財政を取り巻く環境は、昨年お示しした財政試算で明らかなるようにますます厳しさを増しています。わたしは、何としてもこの難局を乗り切り安定的で持続可能な地域社会を築き上げるため、最大限の努力を傾注しなければならないと決意しております。

この一年が、西胆振圏域の全体を視野に入れながら、登別市の将来に向けた確かな一歩となるよう、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆さまにとりまして、明るく幸多い年となりますようご祈念申し上げます。